

ダンスを入口にしないダンス公演だから 新たな観客と出会えた！

ー 建築・都市デザインとゲームを入口とした 観客開拓の実践研究

んまつーポス（豊福彬文*・児玉孝文**・野邊壮平**）
一般社団法人 namstrops（高橋るみ子***）

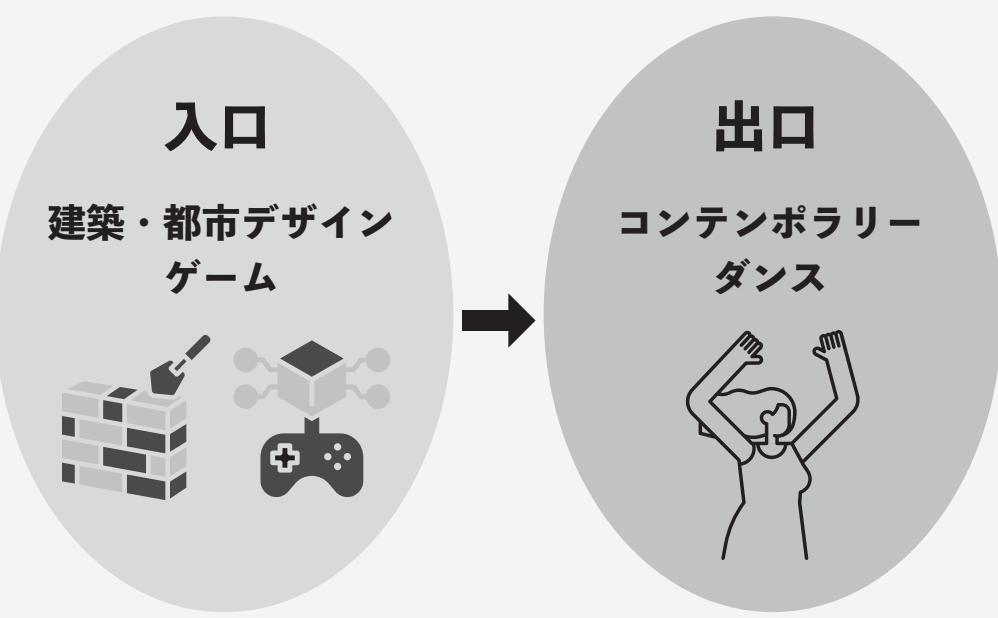
* 宮崎大学国際連携センター客員研究員
** 同研究・産学地域連携推進機構客員研究員
*** 同客員教授

宮崎を「紹介する」のではなく
「訪ねたくなる」をつくる

横浜でのダンス公演を見て
宮崎に行きたい！
と思った人？
約 **95** % の観客が
手を挙げた！

コンセプト

入口を変えれば、観客も、まちも、変わる。



建築やゲームへの関心を起点に、
ダンスを「鑑賞する」公演へ。
参加体験を通じて、新しい観客層との出会いと、
観光・地域への波及可能性を検証した実践研究。

建築・都市デザイン × ゲーム × コンテンポラリーダンス

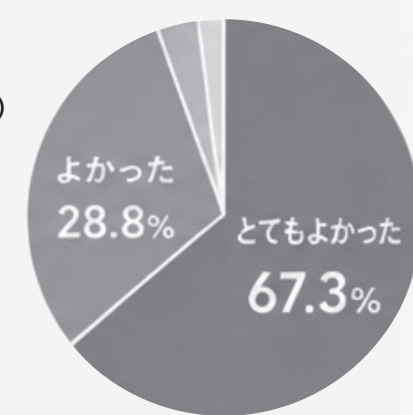
来場者アンケート結果（回答者 52 名）

満足度（とてもよかった・よかった）

96.1%

の方にご満足いただけました！

● とてもよかった 35 人 (67.3%)
● よかった 15 人 (28.8%)
● ふつう 2 人 (3.9%)
● あまりよくなかった 0 人
● よくなかった 0 人



本公演に興味を持った理由
（回答者 52 名）

建築 50.0%
ゲーム 30.8%
ダンス 90.4%

プログラム構成（会場・横浜赤レンガ倉庫1号館）

7.23(木)

身体・建築
ワークショップ



建築家のファシリテートのもと、宮崎の建築物を横浜の建築物に再構築するプログラム。

参加者 **15** 名
／ 子ども & 大人

7.25(土)・26(日)

1 建築
ワークショップ
11:00 - 12:30



小グループで協力して宮崎の建築物をモチーフに舞台美術を組み立てる。

参加者数
25 日 **18** 名 (大学生を含む)
26 日 **24** 名 (大学生を含む)

2 2.5 次元
ダンス公演
14:00 - 15:00



参加者が建築した空間の中でんまつーポスがダンスを展開する観客参加型公演。

来場者数
25 日 **129** 名
26 日 **157** 名

3 アフタートーク
15:00 - 15:30



振付家、建築家、プログラマー e-sports プロデューサー等が登壇し「本公演で期待したこと」を観客とシェア。

登壇者
9 名

4 んまつーポス
鬼ごっこ
15:30 - 16:30



公演後の舞台を活用し、子どもたちが建築や身体を使って遊ぶ参加型プログラムを実施。

ホワイエで 17 時まで
レセプションを開催

来場者の声（自由記述より一部抜粋）



ゲームの要素を取り入れることで、子どもたちが日常から舞台芸術へ自然につながり、多様な人と楽しみながら芸術作品を共に創り上げられることを実感しました。



建築とダンスの組み合わせが
とても新鮮だった。
建築や都市デザインへの興味が深まった。



宮崎に行ってみたくなった！
実際に宮崎の建築をみてみたい！



宮崎のあの 3 建築をこれまで
知らなかったのか！不覚！！行きます宮崎！！

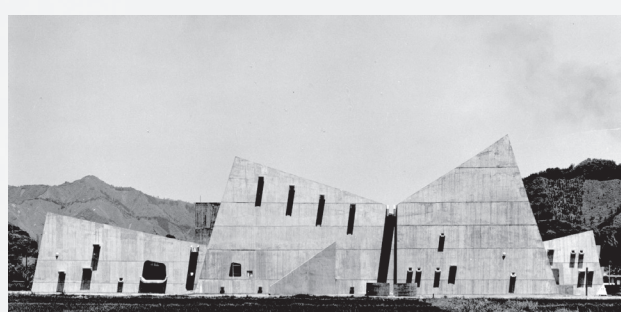
舞台美術（宮崎の建築）



フェニックス・シーガイア・オーシャン・タワー
（設計：芦原建築設計研究所）



旧都城市民会館（建築家：菊竹清訓）



日南市文化センター（建築家：丹下健三）



広報の成果

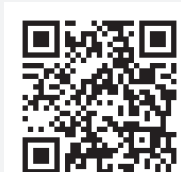
関連投稿の
総視聴回数

約 **90,000** 回

SNS 広告を通じて、ダンス関係者に加え、
建築・都市デザイン、ゲームに関心を持つ層へ
リーチを拡大。



1min Digest



13min Digest

まち・観光への広がり

公演後の問いかけに、

約 **300** 名の観客のほとんどが
「宮崎に行きたい！」
と手をあげました。



建築・ゲームを入口にしたことで
舞台芸術の楽しさだけでなく、地域への関心、
訪問意欲にもつながることが確認できた。

まとめ

ダンスを入口にしないダンス公演のアプローチは、
新たな観客層との接点を生み、観光・地域への波及にもつながることを実証した。



豊福彬文（Toyofuku Akifumi）
「んまつーポス」代表・振付家
宮崎大学国際連携センター 客員研究員
神奈川大学人文学研究所 客員研究員
✉ info@namstrops.com